

他者と関わりながら、 自己の生き方を考えられる キャリア教育の充実

～自己のよさや特徴（パーソナリティ）を自覚し、仕事をする上で必要な力を考える活動を通して～

特別研修員 総合的な学習の時間 岡田 悠亮（小学校教諭）

児童の実態

- ① 自己のよさや特徴に気づき、自分らしさを発揮しながら生活をする事ができていない児童がいる。
- ② 職業調べや仕事をしている人から直接話を聞く機会がないため、将来の夢や目標が決まっていない児童がいる。

教師の願い

- ① 自己のよさや特徴に気づき、自分らしさを発揮しながら将来設計能力や意思決定能力等を育てたい。
- ② 自己のよさや特徴を生かした職業を調べたり、社会人から話を聞いたりして、将来に希望をもってほしい。

手立て① 友達との関わりを通して、自己のよさや特徴を自覚する。

いいところ調べ

自己のよさや特徴を友達と協働して理解する。

付箋1枚につき1人、友達のいいところを記入する。
クラス全員分を記入した後、本人に渡す。

いいところ見つけ(友達が教えてくれた「自己のよさ」)



意外だった自己のよさの発見!

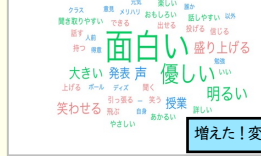


テキストマイニングによる分析

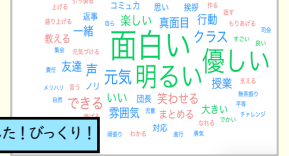
「いいところ調べ」の結果をテキストマイニングを活用し、
最頻の言葉を強調して分かりやすくする。

5月と10月の2回実施。結果を比較することで、自己の変化や
児童自身が気付いていないよさや特徴に気付くことができる。

5月



10月



増えた! 変化した! びっくり!

自己のよさや特徴が生かせる職業調べ

職業を調べてまとめる。自己のよさや特徴と仕事をする上で
必要な力を関連付け、これから頑張りたいことを見付ける。

自己のよさや特徴を生かせるような職業について調べる。また、
その仕事をする上で、必要な力について考えを記入し、日常生活
の中でもその力が高まるように意識させる。

「自己のよさ」を生かす職業を見つけよう

自己のよさ	職業名	やりたい理由
どうすれば なれるのか。	仕事内容	夢を叶えるために これから 頑張りたいこと

この仕事をする上で「必要な力」は?

こんな力を伸ばしていこう!

一学期(23時間)の実践

手立て② 多様な他者との関わりを通して、仕事をする上で必要な力について考える。

職場見学

職場見学を通して、仕事をする上で必要な力について考える。

各事業所の方の体験や話を通して、どんな力が必要かを学ぶ。
見学を通して学んだ必要な力についてまとめ、クラスで共有する。



自己の目で発見した必要な力

責任力	対話力	機械力
理解力	記憶力	暗記力
コミュ力	集中力	

夢を叶えた人の話を聞く

夢を叶えた人の話から、仕事をする上で必要な力について考える。

夢を叶えた人の話を通して、どんな力が必要かを知る。
話を通して学んだ必要な力についてまとめ、クラスで共有する。



体験を聞いて知った必要な力

挑戦力(実行力)	コミュニケーション能力(伝達力)	継続力(努力)
忍耐力	アピール力	観察力
表現力		

海外の人の職業観を聞く

講師から、海外の職業観について学ぶ。

海外のキャリア教育や来日後の生活等の話から、海外で活躍する
にはどんな力が必要かを知る。話を通して学んだ必要な力につ
いてまとめ、クラスで共有する。



海外で活躍するために必要な力

継続力	学力	精神力
コミュ力	言語力	国語力
団結力	努力	体力
責任力	忍耐力	判断力
集中力	サポート力	

成果

自己のよさや特徴と関連させながら考えたことで、今の自己と比較し、これからどのような力を身に付けていく必要があるのかを考える児童が多く見られた。また、多様な他者と関わったことで、今後必要な力を考え、将来設計能力や意思決定能力等を育むことができた。

課題

実際に児童が考えた必要な力を高められる活動の設定について、他教科等と関連させて学んだことを活用するなどカリキュラム・マネジメントの視点から考える必要があった。



自分が知らなかったよさが分かったから、もっと伸ばせるようにしていきたいな。

様々な人に話を聞いた中でこれから必要な力が分かったから、将来に役立てられるように生活していきたいな。

二学期(30時間)の実践